授業科目 地域・在宅看護方法論Ⅱ	専任教員名	単位数 2	時間数 45	履修年次・前 / 後 2年次/前期
講義のねらい	1 在宅看護に必要な基本技術を理解できる。 2 在宅看護における日常生活援助技術が理解できる。			
授業形態	講義・演習			担当及び時間
講義内容	1 訪問看護の基本技術 1)訪問看護の実際 (1)訪問看護援助の基本 2)対象との援助関係の基本(演習を含む) (1)訪問看護技術 (2)面接技術 (3)介護指導技術 (4)多職種連携・調整技術			12
	2 訪問看護の実際 1)訪問看護の準備 (1)訪問看護開始するまでの準備 2)訪問の実際 (1)訪問時の対応 (2)初回訪問のプロセス (3)訪問看護後の整理			10
	3)訪問看護の日常生活援助 (1)環境の調整 (2)食生活と栄養管理 (3)清潔・衣生活 (4)排泄 (5)服薬管理 (6)移動・活動、休息 (7)在宅療養者への教育と指導(療養者本人・家族への介護指導)			20
	3 災害時における訪問看護ステーションの活動の実際 1)災害対策と災害時の対応 2)災害対策マニュアルの作成 3)心のケア 4)ボランティア活動			3
教科書	地域・在宅看護論の基盤(1) (医学書院) 地域・在宅看護論の実践(2) (医学書院)			
参考文献	1 在宅療養を支える技術(メディカ出版) 3 必要に応じて資料配付する			
評価方法	終講試験 100 点			
備考欄	教員とのコンタクトは授業終了後又は終講時に案内する			